

『 もっといいクルマづくり 講演会 』を開催 ～ 「 今後の EV 開発動向と技術課題 」 ～



【講師 豊島 浩二 氏】

講師「豊島 浩二」氏 プロフィール

トヨタ自動車(株) 先行開発推進部 EV 事業企画室 室長

1985 年 大阪大学工学部船舶海洋工学科卒業

1985 年 トヨタ自動車入社 ボディ設計部

17 年間 ボディ設計にてさまざまな車種を担当

2001 年 レクサス LS 製品企画室

LS460、LS600H、欧州向け商用車

2010 年 BR EV 開発室 EV 企画室

2011 年 製品企画 ZF

3 代目・4 代目プリウス、プリウス PHV チーフエンジニア

2016 年 EV 事業企画室 室長 兼 チーフエンジニア

協豊会東海地区は 2018 年 3 月 13 日（火）、三井住友海上しらかわホールにおいて、講師にトヨタ自動車 先行開発推進部 EV 事業企画室 室長の「豊島 浩二」氏をお招きし、東海地区会員会社代表者、担当役員、部門長など 400 名を超える方々のご参加のもと、「もっといいクルマづくり」のレベル向上を目的として、「今後の EV 開発動向と技術課題」をテーマに講演会を開催しました。

講演は、まず前段のテーマ「従来のトヨタ自動車（環境車）の考え」では、プリウス・プリウス PHV の開発エピソードをご紹介いただき、両車種の環境性能が大変優れている点を様々な切り口でご説明いただきました。また PHV を自家用車として乗られているご経験も交え、外部電源供給システムは災害時などに大変有効なシステムであることを、笑い話も交え大変丁寧にご説明いただきました。

後段のテーマ「EV 事業企画室が目指した社会像」では、EV 事業企画室発足時の豊田社長を交えたエピソードのご紹介を始め、EV 事業企画室で開発されたウィングレットのご紹介、また現在から将来にわたる EV の動向、EV を普及させるために必要となる社会やビジネスの変革などについて、大変刺激的で貴重なお話を伺うことができました。



【講演会 風景】



【ご講演される豊島室長】